

経済的理由による大学進学断念に関する資料

1 高校教諭対象「大学の学費に関するアンケート」

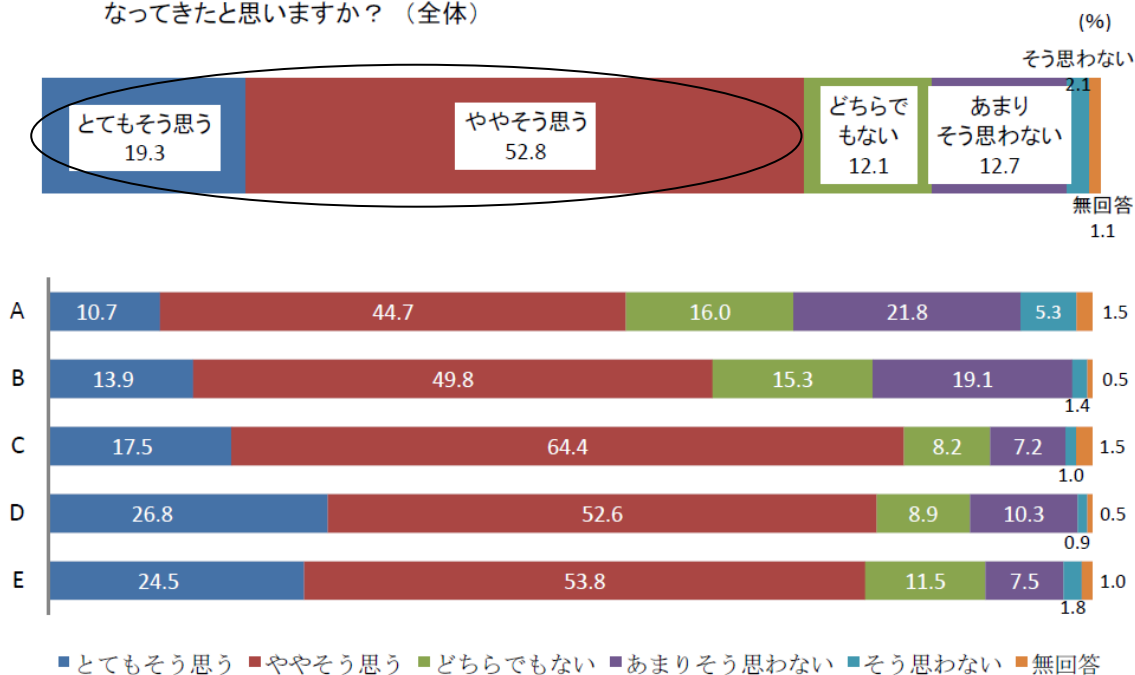
- ・方 法 FAXによる質問要旨調査
- ・対 象 全国高等学校（進路指導担当教諭）
- ・回答数 高校1, 297校（国公立934校、私立361校、無回答2校）
- ・期 間 2010年8月26日～2010年9月10日
- ・実施者 ㈱ライセンスアカデミー

■ 経済面の制約

大学進学の学費による制約の意識が高い。「そう思う」（「とても」と「やや」の合計）は72.1%（昨年対比+2.8ポイント）と、経済面による学費の制約が強まっている結果となった。昨年の調査と比べると、「とてもそう思う」が1.6ポイント増加し、その深刻さが伝わってくる。

また、大学進学率が高いA群は「そう思う」55.4%、進学率が低いE群は78.3%と、大学進学率が低い高校ほど、その意識が強くなる傾向にある。

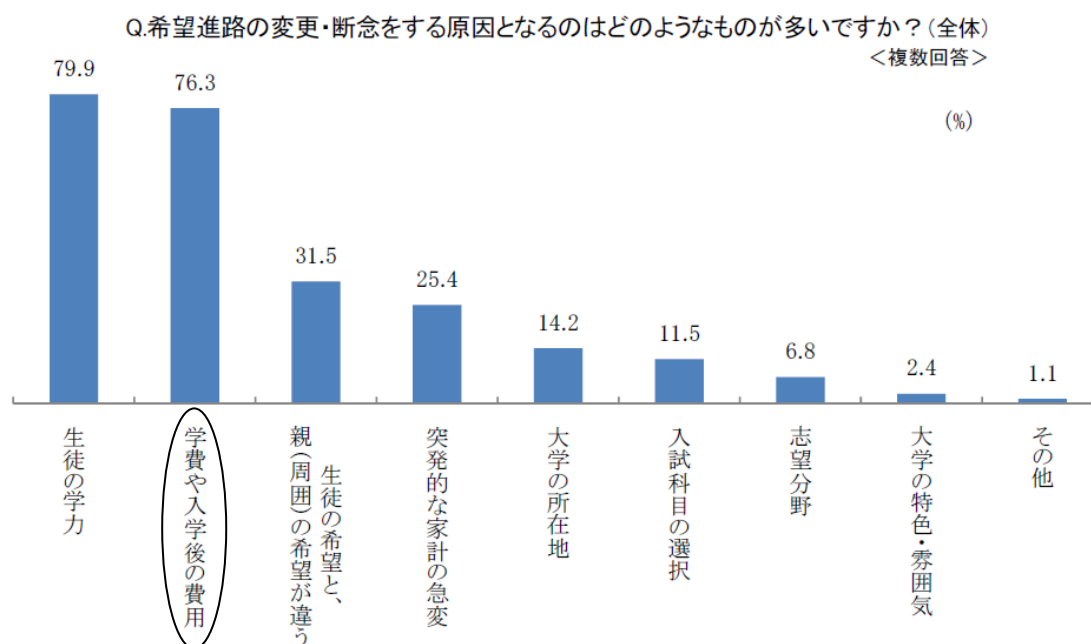
Q. 現在、大学に行きたくても行けない生徒たちは、学力より学費（経済面）の制約が強くなってきたと思いますか？（全体）



- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| A. 大学進学率90%以上 | B. 大学進学率70～90% | C. 大学進学率50～70% |
| D. 大学進学率30～50% | E. 大学進学率30%未満 | |

■ 進学断念の理由

進学断念の理由として、当然のことながら「学力」が第1位だが、第2位として「学費や入学後の費用」がわずかな差で続いている。進路希望断念の要素はこの2項目にほぼ集約される。大学進学率別にみると、進学率70%以上（A・B）の高校では、進路変更の要因の多くが「学力」であり、8割を超える。一方、進学率の低い高校では、進路変更の要因が圧倒的に「学費など」となり、進学率30%未満の高校（E）では88.0%となる。進学率が上がっていくにつれて、学費の回答率は下がり、進学率90%以上（A）では49.2%にとどまっている。学費や学力に関する意識の差が歴然としている。



2 あしなが育英会 遺児家庭実態調査

高校生50%が生活苦で進学断念 あしなが募金

病気や自殺で親を失い、就職を希望する高校生らの50%が生活苦から進学を断念していたとする調査結果を23日、あしなが育英会（東京）が発表した。同会は「家計が苦しいため進学を希望しづらい。貧困から抜け出すには大学や短大進学が必要なのに、難しくなっている」と分析している。

奨学金に充てるため1970年に始まり今年、40周年となる学生募金が24日から全国約200カ所でスタートする。

調査は2月、高校と高等専門学校の全学年計4400人に実施し73%が回答。このうち就職を希望している803人中、生活苦を理由に50%が進学を断念。3月卒業の1036人中、大学や短大に進学できたのは41%で、2009年度の文部科学省調査の全国平均54%より13ポイント低かった。

寄付をする「あしながさん」のうち3～4月に寄付をやめたのは121人で、昨年同時期65人の2倍近く。同会は「高校無償化で『奨学金はもう不要』との誤解が広がった」と話している。

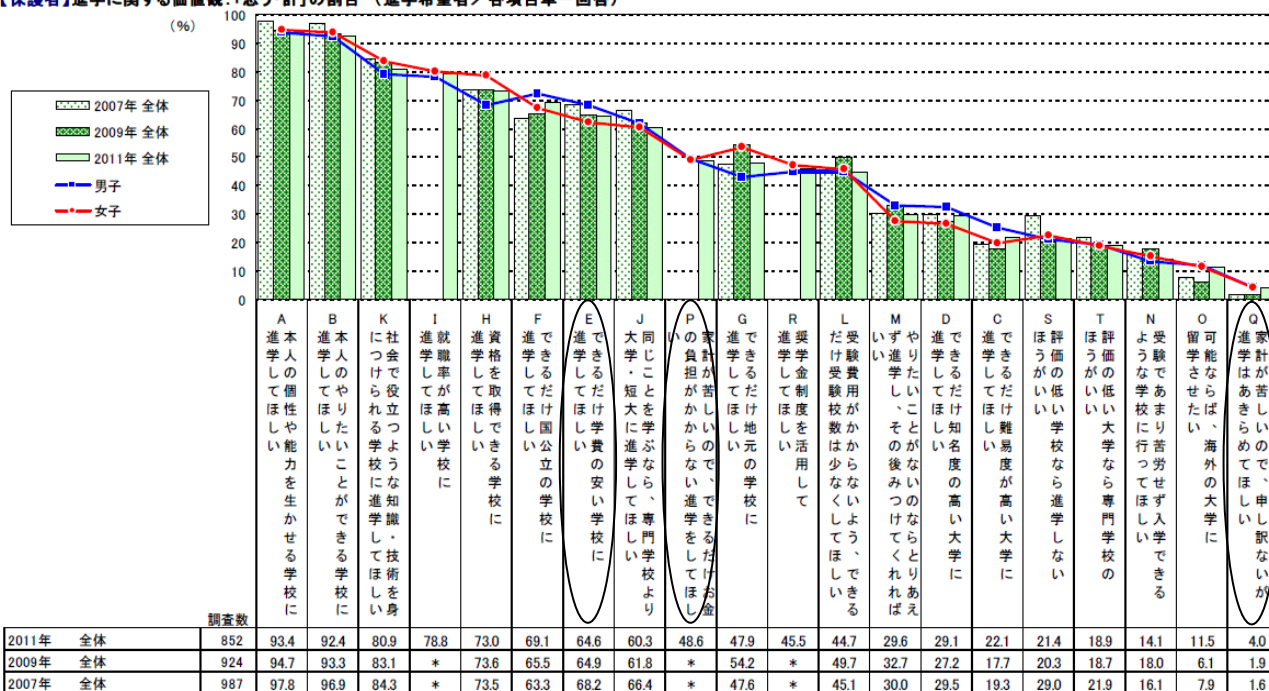
出典 2010年4月23日付け 共同通信

3 高校生と保護者の進路に関する意識調査

- ・方法 学校を通じた質問紙による自記式調査
- ・対象 全国の高校2年生とその保護者
- ・回答数 高校生1,959人 保護者1,417人
- ・期間 2011年9月20日～2011年10月31日
- ・実施者 全国高等学校PTA連合会/㈱リクルート

■ 進学に関する価値観（保護者）

【保護者】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者/各項目単一回答）

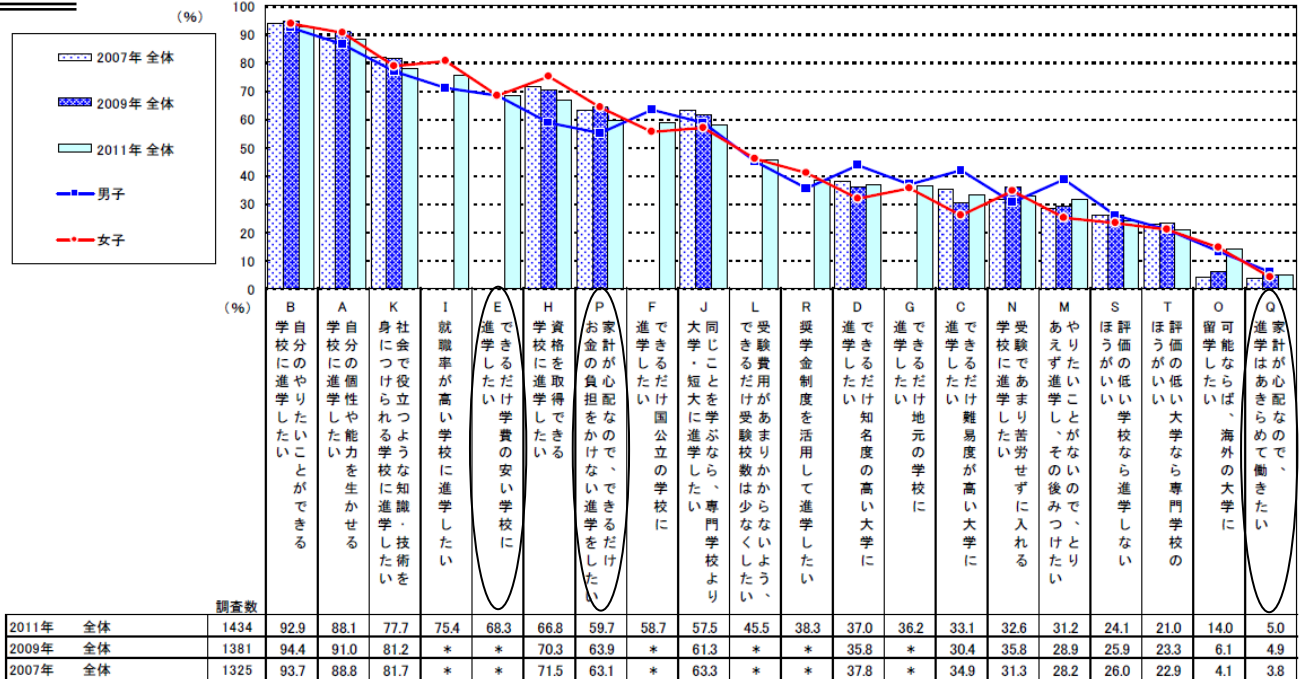


子どもの進学を希望する保護者が進学に関して思うことは、

- ・「本人の個性や能力を生かせる学校に進学してほしい」が93.4%で最も多い。
- ・次いで、「本人のやりたいことができる学校に進学してほしい」(92.4%)
- ・費用に関する項目は以下のとおり。
 「できるだけ学費の安い学校に進学してほしい」(64.6%)
 「家計が苦しいので、できるだけお金の負担がかからない進学をしてほしい」(48.6%)
 「家計が苦しいので、申し訳ないが進学はあきらめてほしい」(4.0%)

■ 進学に関する価値観（高校生）

【高校生】進学に関する価値観：「思う・計」の割合（進学希望者／各項目単一回答）



進学を希望する高校生が進学に関して思うことは、

- ・「自分のやりたいことができる学校に進学したい」が92.9%で最も多い。
- ・次いで、「自分の個性や能力を生かせる学校に進学したい」（92.4%）
- ・費用に関する項目は以下のとおり。
 - 「できるだけ学費の安い学校に進学したい」（68.3%）
 - 「家計が心配なので、できるだけお金の負担をかけない進学をしたい」（59.7%）
 - 「家計が心配なので、進学はあきらめて働きたい」（5.0%）